

作成番号:0157

=====

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

=====

号数:2024-157

内容:祝日は COVID-19 の拡大に影響を及ぼすか? 大阪で最大、東京で最小

出典: Public holidays increased the transmission of COVID-19 in Japan, 2020-2021: a mathematical modelling study.

Epidemiology and health. 2024 Jan 22;e2024025. doi: 10.4178/epih.e2024025.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/38317530/>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の伝播に祝日は影響を及ぼしたか。京都大学の研究者らが祝日に COVID-19 伝播が増強したか、またその影響は都道府県によって異なったかを調査して、Epidemiology and Health 誌オンライン版 2024 年 1 月 22 日号に掲載した。

2020 年 2 月 15 日～2021 年 9 月 30 日における北海道、東京、愛知、大阪の 4 都道府県における COVID-19 発症と流動性のデータを収集し、祝日の感染頻度の増加を評価した。推定された実効再生産数と、調整前後の流動性、祝日、非常事態宣言を関連付けるモデルを作成した。祝日における実効再生産数の増加率 (平均) は、北海道 5.71%、東京 3.19%、愛知 4.84%、大阪 24.82% だった。祝日の影響で増加した感染者数の合計は、北海道 580 例 (95%信頼区間: 213～954)、東京 2,209 例 (同: 1,230～3,201)、愛知 1,086 例 (同: 478～1,686)、大阪 5,211 例 (同: 4,554～5,867) だった。今後、適切な公衆衛生および社会対策を立案するうえで、祝日を考慮することが重要である。